

2019年度 デイサービスひろば 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

公表 2020年3月7日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切である	○			・その日の利用人数によって、エリアが少ないと感じる→今後エリアを調整していく
	②	職員配置数は適切である	○			・定員一杯の利用がある日は、個々の活動、おやつ作り、連絡帳記載等、少ないと感じる時がある ・状況によっては適切でないと感じることがある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか			○	・適切に形が整っていない
業務改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・同法人他の事業所職員や実習生など事業所外の人から意見をもらい参考にすることはある。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・職員会議の時間を使い、職員が輪番でミニ研修を行っている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・同じ人がすることが多い
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・スケジュールが固定化されやすい。改善が必要。 ・前回のスケジュールを見ながらしている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・設定できる時とそうでない時とがある ・平日、休日、長期休暇に応じて内容を変えている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・勤務の都合上、時間が合わない時もあるが、前日などに確認する時もある ・必要に応じてしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・終了時スタッフ間で共有し、不在スタッフは日誌、ケース記録にて共有することができる。 ・終了時刻が一定でないため難しいことがある
	⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者、管理者が参画している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・保護者から行事予定表を預かり、それを元に情報を共有することが多い。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・医療職がいないので、受け入れできない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園		○		・全員ではない

		園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研修の機会は活用している</li> <li>• 自閉症の専門家や臨床心理士に活動を見てもらい、助言をいただき支援に生かしている</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとも活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会疎へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今後取り組む</li> </ul>
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 茶話会を設け、保護者同士の連携を支援している</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 周知はしていないが、迅速に対応を心掛けている</li> <li>• 対応している</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不定期ではあるが、発行を開始した</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適正な対応をしているかどうかのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 権利擁護研修等に参加している</li> <li>• 実情に即したものができていない対象となる児童はいない</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医師の指示書は無いが、保護者からの情報（直筆）により対応している</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事例集はないが、会議で皆で共有するようにしている</li> </ul>
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医師の指示書は無いが、保護者からの情報（直筆）により対応している</li> </ul>